

校長室だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/manuyamaekai/>

12月24日冬休み前の講話から

校長 藤 至光

皆さん、おはようございます。

明日から13日間の冬休みが始まります。冬休み中も新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症の感染防止に努めるとともに、健康、安全に十分注意して過ごし、1月7日に元気に登校してくれることを願っています。

さて、2021年も今日を含めて残り11日となりました。ずいぶん寒くなりましたが、皆さんの元気な顔を見ることができて嬉しいです。コロナ禍の中、命の大切さをみんなが再認識したのではないのでしょうか。

世界にたった一つしかない私の命、他の人の命が一番大事です。

今日は、「わからない」、「なぜ」は素敵なこと。あなたの挨拶や笑顔は力です。そんな話をしたいと思います。

先日、ある生徒が「先生これわからない」というと、別の生徒が「どれどれ」と一緒に問題を解いたという話を聞きました。素晴らしいです。ノーベル賞を受賞した方々も「わからないこと」を発見し、「なぜ」を追求し続けた結果、あらゆる発明にたどり着かれました。発明家や研究者たちは分からないからこそ調べ、たくさんの失敗を乗り越えて成功しています。「わからない」を見つける力は素晴らしいことなのに、なぜだかわからないことは恥ずかしいことだと勘違いしている人がたくさんいます。皆さんの教室ではどうですか？先ほどの話のように、皆さん全員に「わからないを発見する力」があります。そして「一緒に考える力」もあります。コロナのように誰もが初めてのことや、答えが決まっていない問題、当たり前だったことがそうではないことも多くあります。まずは、課題に自分から関わることです。じっと待っているだけではもったいないです。自分の考えを行動に結びつけるために声を出す。「わからない」はそんな素敵な言葉です。人にはいろいろな面があります。考えも様々です。自分と同じ考えではない人の方がきっと多いはずです。

そんな時こそ対話が必要です。自分と違う意見は、自分の意見をより深く確かなものにしてくれるのに役立ちます。自己の考えをしっかりと持つために「わからないこと」からスタートしていきませんか。一人ひとりが自分の考えをもち、よりよく生きていければきっと未来は輝きます。違う意見は、より考えを高めます。誰も取りこぼさず、よりよい社会にするためにはみんなが対話をしましょう。対話ができるのが仲間です。仲間の存在が嬉しいです。

人は支えあって社会を創っています。助け合う行動の基はいたわりです。思いやりや優しさです。他人の痛みを感じる心です。

今年も終わりに近づいたこの時期に、振り返ってみてください。一人ひとりが命を守ってきたことは何より素晴らしいです。私は皆さん一人ひとりの挨拶と笑顔に元気をもらっています。皆さんが思うよりずっとあいさつや笑顔は周りの人を明るくします。全員にそんな力があることも知っておいてくださいね。これからくる2022年を、より頼もしい自分や仲間とともに楽しい年をつくっていかれると信じています。

それではみなさん、よいお年をお迎えください。

